




飼養雌牛一覽

P黒1188
和華久
 黒原636E

若自合×安福久×勝忠平



**繁殖記録を正しくとることは、
分娩間隔を短縮するための第一歩です!**

- ◆一年一産◆**
繁殖牛の生産性を高めるためには、繁殖間隔を短縮し、一年一産で連産させることが重要である。
- ◆分娩間隔を短縮するためには◆**
いかに空卵期間を短縮するのにかかってきます。それは、飼育管理や繁殖管理の改善により、授精成績を向上させることです。
- ◆繁殖カレンダーの利用法◆**
分娩予定日、次回発情予定日が即座にわかります。人工授精又は受胎移殖時にはその赤字が人工授精時(妊娠期間は平均285日として計算)、青字が受胎移殖時(妊娠期間は平均278日として計算)の分娩予定日をそれぞれ表しています。次回発情予定日(平均212日周期)は1月1日に発情があれば、その真下の欄の1月22日次の発情予定日になります。